

TSA

TOBA SUPER AQUARIUM

No.81 SUMMER 2022

特集

鳥羽水族館の危険生物

〜カワイイばかりが水族館の生きものじゃない!!〜

フロントエッセイ

始動、鳥羽水ドローン調査隊

TSA 特別講座

ちょっと今ココだけのウイルス小啻

長崎 慶三

地球で遊ぼう!

お散歩バードウォッチングのススメ

一日一種

鳥羽水族館

ISSN 0916-9725



▲ドローンで撮影できたスナメリ親子(鳥羽湾・水族館前にて)

水ドローン調査隊の誕生

飛はしていいものなのか？

ドローン調査隊の挑戦はまだ

始動、鳥羽水ドローン調査隊

飼育研究部 仲田 夏希

ちの挑戦は始まりました。

力を表現するショーなど、生き

飛はしていいものなのか？

ドローン調査隊の挑戦はまだ

TSA

TOBA SUPER AQUARIUM
No.81 SUMMER 2022

Front Essay

始動、鳥羽水ドローン調査隊

仲田 夏希

特集 鳥羽水族館の危険生物

- ～カワイイばかりが水族館の生きものじゃない!!～
- 竹居 桃香 02
- 三重の水辺紀行 76
- 一童心に帰って一
- 神藤 怜緒奈 06
- 海の生きものたちに会いたくて 76
- アユ
- 若林 郁夫 08
- あっぱれ! キーワード水族館 45
- 爪の巻 10
- TSA 特別講座 45
- ちょっと今ココだけのウイルス小噺
- 長崎 慶三 14
- 地球で遊ぼう! 40
- お散歩バードウォッチングのススメ
- 一日一種 16

釣りバカ飼育員日記 第17回

- 力エル
- 辻 晴仁 18
- 人魚姫セレナとの日々 6
- 入館 35周年を迎えて
- 半田 由佳理 19
- 獣医のきもち 40
- 自然な笑みを探して
- 笠松 雅彦 20
- 伊勢志摩プラプラ 第3回
- 4つの浜調査
- 高林 賢介 21
- もうヘンなヤツとは言わせない! 22
- ヒメキンカラライソギンチャク
- 森滝 丈也 22
- とっておきのウラ話
- アラサーだけど新人広報ウーマン!?
- 村上 真美 23
- 鳥羽水族館モノ語り 33
- 「タオル」 24
- 読者のページ 25
- セレナ入館 35周年に寄せて
- ～セレナを通して見る水族館と大学との連携～
- 若井 嘉人 26
- [出来事&クローズアップ]
- 2021年11月1日～2022年4月30日 28

●楽しい情報をホームページで公開しています <https://www.aquarium.co.jp/>

フロントページから 巨大危険生物の思い出

水族館の飼育係をやっていると、実に様々な動物と触れあうことになる。ラッコ、ジュゴン、イルカ、アシカ、カワソノ、等々。それは普段、人がなかなか触ることが出来ない生きものであることが多い。これは飼育係の特権とも言えるのだが、注意しないと時に痛い目に合うことになる。

ながら私の肩の上をモソモソ動いていたが、居心地が悪いらしくやがて首から耳の方へ移動してきたのだ。私は嫌な予感がしてそいつを引き離そうとした次の瞬間、ヤツは鋭い爪で私の耳を思いっきりひっかいたのだ。ひよっとしたら噛んだのかも...。今でもトラウマとして私の記憶の奥深くに残っている。



若井嘉人

鳥羽水族館の危険生物

「カワイイばかりが水族館の生きものじゃない!!」

飼育研究部 竹居 桃香



キラリと並んだ歯が恐ろしいシロワニ

鳥羽水族館では約1200種類の生きものを飼育し、展示しています。その中にはジュゴンやラッコのように可愛らしい生きものや、サメやワニのように怖く、危ないイメージを持つ「危険生物」も含まれています。もちろん水族館に遊びに来られたお客様に危険が及ぶことはありませんが、飼育係はそれらの生きものを飼育し、かつ自分たちが被害に遭わないよう日々気を付けて業務を行っています。

ひとくくりに危険生物といっても危険性は種類によって様々です。「咬む」ことや「刺す」ことで自分の身を守ったり、はたまた触れるだけで相手に死をもたらしほどの毒をもつものや、体から電気を発生させる少し変わったものもいます。ここからは鳥羽水族館で見られる危険生物たちを紹介したいと思います。

シロワニ

サメなのに名前に「ワニ」と付いているのは、昔サメの事をワニと呼んでいたことが由来となっています。温厚な性格で、人を襲うことはほとんどないといわれていますが、この大きな体に、キラリと並んだ歯を見るとガラス越しでもやはり恐怖を感じてしまいます。しかし、水中ではダイバーの吐くエアード驚いてしまったり、距離が近いことでストレスを感じ、パニックになってしまったり臆病者のようです。1週間に2回水槽に潜水し、トングを使ってサバを餌として与えます。私は担当ではありませんが、この仕事は水族館の中で一番怖いのではないのでしょうか？担当者によるとシロ



口もとは笑っているように見えるミシシッピワニ「ワニタロウ」

ワニのご機嫌をうかがいながら口元に餌の魚を持っていくそうですが、昔はトングを使わず素手で餌をあげていたこともあったとか。水槽越しでもかなりの迫力があります。

ミシシッピワニ

性格は比較的温和で主に魚や小動物を食べていますが、人を襲うこともあります。鳥羽水族館ではオスの「ワニゾウ」、メスの「ワニタロウ」の2頭を飼育しています。メスなのにワニタロウという名前

が付いているのに笑ってしましますが、子ワニの頃にタロウと名付け、成長と共にメスということが判明したそうです。所属しているチームが担当しているので私も水槽に入ることがあります。一歩足を踏み入るとすぐに、口を開けて威嚇しながら近くまでやって来ます。ワニたちに私が怖がっていることを見透かされないよう、水槽内ではなるべく心を落ち着かせる努力をしています。長年の担当者でも、常に気を抜かないようにしているほど危険なのです。

セットを気付かないで触ってしまい、大変痛い思いをすることもありますが、海に遊びに行くときよく見かける「ミズクラゲ」という名前は聞いたことがあるのではないのでしょうか？毒が無いイメージをお持ちの方も多いと思いますが、実は強力な毒があります。しかし、ミズクラゲの毒針は短く皮膚の中まで届かないため、刺されていても気づかないことが多いようです。肌の弱い方や皮膚の薄いところを刺されてしまうと痛みやかゆみが生じるよう

クラゲ

水族館では数種類のクラゲを展示していますが、ほとんどのクラゲには刺胞と呼ばれる毒針があります。クラゲの種類によって異なりますが、刺されるとミミズ腫れのような跡ができて、しばらく腫れと痛みが続きます。担当者は素手で水槽内に手を入れないように気をつけています。しかし、クラゲの触手がついたピン



実は強力な毒を持つミズクラゲ



実は臆病な性格のピラニア・ナツテリー

ピラニアと聞くとアマゾン川にすむ危険な魚で、集団で獲物に襲いかかるイメージがあると思いますが、しかし、実は臆病な性格でパイパーが入ってくると水槽の隅の方へ逃げて行ってしまいます。襲われるのではないかとドキドキするかもしれませんが、ピラニアがこちらを避けてくれるので特に恐怖を感じたことはありません。しかし、傷口から流血した状態で



実は水族館の個体には毒がないコバルトヤドクガエル

「ヤドクガエル」という名前は、中南米の原住民が彼らの毒を吹き矢の先に塗って、狩りをしていたことに由来します。彼らが鮮やかな体色をしているのは、自分には毒があることを示しているからです。自然界では毒アリの餌として食べ、体内にその毒を蓄積しています。ところが、水族館で飼育しているヤドクガエルには毒がありません。



意外と優しい!?ウツボ

ウツボの口の奥には何本もの歯が生えていて、それが返しのような形になっています。餌となる魚を逃がさないようにそのような作りになっています。性格も凶暴だといわれています。しかし、水槽に入っても特に攻撃してくることはありません。なぜなら、飼育個体には無毒のコオロギを与えているため毒を蓄積できないのです。でも、ヤドクガエルに触れた手で物を食べるほどの勇気はさすがにありませんね。

さまざまな危険生物について触れてきましたがいかがでしたか？今回紹介した危険生物はまだほんの一握りです。今年の夏、普段見ることのできない危険生物たちが帰ってきた危ない奴ら、「超危険生物水族館2」という夏の企画展で鳥羽水族館に集結します！初めて来館されるお客様や、何度も水族館に足を運んでいただいている方々にも、楽しんでいただける内容になればと思っています。期間は7月15日(金)から9月19日(月・祝)です。ぜひ今年の夏は、鳥羽水族館で危険な生きものたちと夏の思い出を作ってみてはいかがでしょうか？皆様のご来館をお待ちしております。



大きな口を開けて餌を食べるワニガメ

ワニガメ 北米に生息する大型のカメで普段は水槽内でじっとしています。お客様によく岩と間違えられますが、これこそが彼らの生き延びるすべなのです。彼らが自然界で獲物を捕らえる方法は少し変わっています。大きな口を開けて舌を見せ、それをミミズのように動かし

水族館なのにネコ？と言われることが多いですが、漢字で書くと「漁り猫」。漁りとは魚を捕るという意味です。ネコは水が苦手とされていますが、彼らは魚を捕らえるため濡れるのも気にせず水に入ります。野生では魚以外に甲殻類や小動物、水辺にきた鳥類等も食べているといわれています。見た目も可愛いので、危険とはほど遠いように思えますが、実はかなり危険です。ネコといっても、ペットとして飼われている猫ちゃんとは異なり、性格は凶暴で担当者も触つ

ます。興味を持ってやってきた魚を一瞬で捕らえてしまいます。いわゆる待ち伏せタイプのカメなのです。顎の力も強力で一度食らいついたら離しません。給餌の際にはピンセットを使いますが、間違えて手を噛まれないか、いつもヒヤヒヤしています。



可愛い顔をしているが実は凶暴 スナドリネコ「サニー」

た事はありません。担当者をよく観察していて、嫌いな人が餌をあげるのと食べに來なかつたり、新人の事をなめてかかつたり、人によって態度を変えています。ガラス越しに目が合うだけでも口を大きく開けて威嚇してきたり：なか

なか手ごわい動物です。ではここで、私が思う「実はそんなに危なくない？危険生物」も紹介したいと思います。かなりの個人的主観が入っているのですが、人によっては「危ないよ！」とツツ



貝殻を並べてみる



収集した色とりどりの貝殻



安楽島海水浴場の岩場



快晴の安楽島海水浴場

こんにちは。先日、鳥羽水族館からも近い三重県鳥羽市の安楽島海水浴場で貝殻探しをしました。海水浴をするにはまだ早い時期だった為、砂浜も岩場も貸し切り状態。誰もいない浜辺でうつつむきながら一人、貝殻探しに没頭すること約1時間。いつのまにか人目もはばからず探索に夢中になっていました。貝殻が手に収まりきらなくなったところで、家に帰って早速集めた貝殻を並べてみることに。

今回一番たくさん見つかったのはカニモリガイ。縞々模様がいい味を出していますね。カニモリガイは漢字で書くくと「蟹守貝」。ヤドカリがよく使う貝だからこの名がついているそうです。そう言えば子供の頃、波打ち際に落ちていた巻貝の中には全てヤドカリが住んでいるという、とんでもない勘違いをしていたのを、ふと思い出しました。今回、偶然水際で見つけたヤドカリは、スガイという貝のものと思われる貝殻を背負っており、カニモリガイを使っているヤドカリには出会いませんでした。残念ながら、拾ったカニモリガイの中もすべて空き家でした。さて、拾ってきた貝殻のうち、私の一番のお気に入りにはナミマガシワ。半透明でキラキラしていて、カラーバ

ーションも豊富。「幸せを呼ぶ貝」と呼ばれることもあり人気の貝殻なんです。とても綺麗ですね。

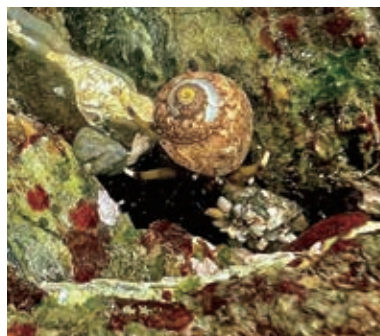
貝殻探しをしていると時々、小さな穴が開いた貝が見つかります。今回採集した貝の中にもいくつかありました。実は、これらの穴は貝を捕食する貝によつて開けられたもの。貝を捕食する貝としては、ツメタガイやイボニシの仲間等がよく知られています。今回発見した貝に穴を開けたのは一体誰の仕業だったのでしょうか。想像が膨らみますね。

同じ種類の貝をいくつも並べると、一つ一つの貝に個性が見えてきたりします。色の濃淡、サイズの違いと言った、成長や遺伝等による個性はもちろんですが、私は表面の凹凸のすり減り具合を見て、「どこから、どのくらいの時間をかけて、ここまで流されてきたんだろう。」なんて考えたりもします。童心に帰って、そんな答えのわからないことをのんびり考える時間も、たまにはいいものです。ゆつたりした時間を過ごし、なんだか小さな幸せが訪れた気分。まさか、これはナミマガシワのパワーかもしれません。

飼育研究部 神藤 怜緒 奈



ナミマガシワ



逃げ隠れる直前のヤドカリさん



カニモリガイ

三重の水辺紀行
mie-no-mizubekikou

自然あふれる三重の水辺を巡る

— 童心に帰って —



魚道でジャンプするアユの子供たち。海から川の上・中流を目指す。

●第76回● アユ

飼育研究部 若林 郁夫

私が美しいなーと感じる魚の一つにアユがいます。細長くス
マートな体形、非常に細やかで規則正しい鱗、胸鰭の上方向にあ
る黄色の模様はチャームポイントです。さて、アユと聞くと、大
きな川の清らかな流れの中で暮らしているイメージをお持ちの方
が多いかもしれません。しかしこのアユ、サケ程ではありません
が、生涯の一時を海で暮らす魚でもあります。秋に川の下流域
で卵から孵化したアユの赤ちゃんは、海へと下り、5センチほど
に成長すると、春に海から川の上流・中流を目指します。この4
〜5月、私は鳥羽周辺の川の河口で、海から川をさかのぼるアユ
たちを探してみることにしました。

果たして川をさかのぼるアユにそう簡単に会えるものだろうか
…？ ちょっと心配な気分です、まず私は松阪市の榎田川という大
きな川の河口にある堰に出かけてみました。大きな川ですが、こ
こしばらく雨が少なかったためでしょうか水量は少なく、魚道にし
か水が流れていませんでした。車を降りて堰の方に近づくと、懐か
しい川の匂いがしてきます。京都の山奥で育った私が、魚釣りに
行ってしょっちゅう嗅いでいた匂いです。私はキョロキョロしな
がら、川辺を歩き魚道の方へと進んでいきました。私が想像して
いたのは、上流へ向かうアユが魚道でピョンピョンとジャンプし
ている光景でした。しかし、

魚道では大きなコイがバ
チャバチャしているだけ
で、アユらしき魚の姿はど
こにも見当たりません。
やっぱり無理なのかなー、
そう思いながら、魚道の横
で30分程ぼーっと待ってい
ると、小さな魚が跳ねたよ
うな気がしました。え、ま
さかアユ？ そのままじつ
と魚道の小さな滝を見てい



アユを見つけた榎田川の魚道

何といきなり、想像していた光景を
見ることができたのでした。

榎田川でアユに会えた私は、志摩
半島にある小さな川の河口にも出か
けてみることにしました。鳥羽水族
館のすぐ近くにある加茂川の河口に
行ってみると、1つ目の堰にある魚
道では発見することができませんで
したが、それより少し上流の次の堰
の下にアユらしき姿を見つけたこと
ができました。堰の下を網ですくつ
てみると、いました！ました、アユ
3匹を採集することができました。
そして次に訪れた磯部町の野川と池
田川でも河口から一つ目の堰の下で
アユ2匹ずつを採集することができ
ました。3カ所とも少し濁った水で、

清流とは言えない水辺でしたが、志
摩半島各地の川にアユたちがひっそ
り生息していることが、よく分かり
ました。しかしその一方、アユたち
が置かれている環境がどこも同じで
あることを知ることになりました。
本来なら、海で育ったアユの子供た
ちは、川をさかのぼり、上流で生活
を送るはずですが、しかし私が見た川
はどこも河口に堰がつくられ、アユ
たちがそれ以上、上流へ進むことが
できない状況がつくられています。
た。生きものの通り道として魚道も
つくられていましたが、そこは流れ
が異常に速かったり、整備されてい
なかつたりで、決して十分とは言え
ません。上流に進めないアユたちは

そのまま河口で生涯を終えるので
しょうか？ 繁殖に参加はできるの
でしょうか？ 河口に堰がつくられ
る理由は、高潮などによる海水の逆
流を防ぐためや田んぼに水を引いた
めで、河口堰は私たち人間には必要
性が高いものと言えるでしょう。し
かしその堰が、魚やエビ、カニなど
海と川を行き来する生きものの大
きな障害となり、河口域の生態系を壊
しているのも事実です。今回取材す
ることで改めて、もう少し生きもの
たちに優しい河口堰ができないもの
か、人間はもっと考えないと、と、
そう思えてなりません。野生
のアユ、やっぱり美しかったです…。



魚道の滝の下に集まるアユの子供たち



加茂川のアユ。田んぼに水を送るため川が堰とめられており、これ以上は上流にさかのぼれない。



池田川のアユ。左側の水路で田んぼに水を送っている。ここの堰には魚道がない。



干からびた伊勢市五十鈴川の魚道



05

06

01

02

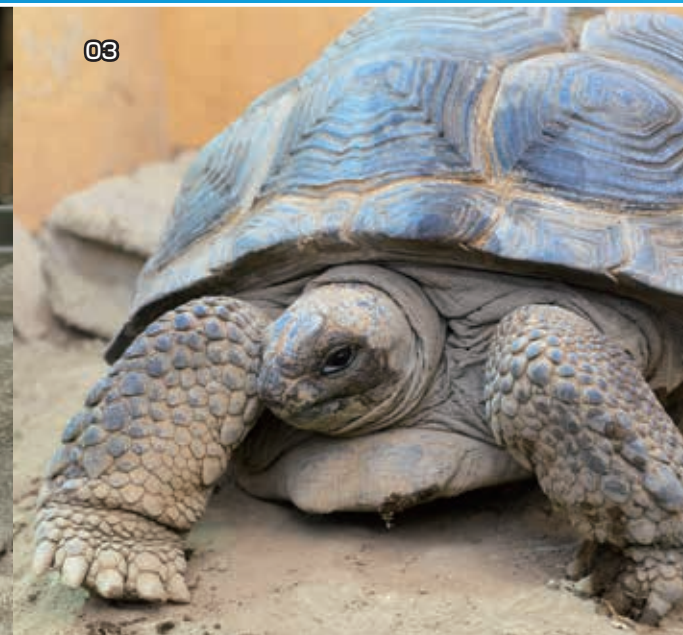
- 05: ラッコ
- 06: カビバラ
- 07: アメリカビーバー
- 08: ハイイロアザラシ

- 01: アフリカマナティー
- 02: アフリカマナティーの爪
- 03: アルダブラゾウガメ
- 04: セイウチ

あはれ!
 キーワード水族館
 【第45回】

爪の巻

ひっかいたり、
 つかんだりできる体の一部
 今回は、おしゃれもできる
 『爪』に注目してみましよう



07

08

03

04



13



14



09



10



15



16



11



12

13: フンボルトペンギン
15: ミシシippアカミミガメ

14: フンボルトペンギンの脚
16: スナドリネコ「左: シェル(弟)」「右: ムーン(兄)」

09: コツメカワウソ
11: コバタン
10: コツメカワウソの爪
12: コバタンの爪

この「爪」というものは、私たち人間だけが持っているものではなく、いろいろな動物たちにも見ることが出来ます。では、動物たちはいったいどんな爪をしているのでしょうか。爪に注目して生きものたちを調べてみると、「この動物にも爪があるの?」と驚きの発見があります。

例えば、アフリカマナティ。水中で暮らしている彼らの前脚を観察してみると爪を見つけることができます。水中に適応したオール状の形をしています。よく見ると縁には丸い爪を見ることが出来ます。

そして、生きものたちによって、爪の使い方はさまざまです。代表的な生きものは、日本では外来種として知られているミシシippアカミミガメです。オスの爪(前肢)は、少し長過ぎるのでは?と感ずるほどの長さをしていますが、恋の季節になると、その爪のついた前肢をオスがメスの前で細かく震わせる行動をとります。この行動はミシシippアカミミガメの求愛行動とされています。

オウム仲間「コバタン」は、脚や爪を上手に使って、木の枝に止まったり小さなエサを落とさずにしつかりとつかんで口まで持っていきます。

ほらほら! アシカやアザラシたちの鱭をよく見てみると、鱭の先あたりに爪がついているのがわかりますか? 彼らをよく観察していると、その後肢についた爪を上手に使って体を掻いているのを見かけることがあります。

奇跡の森ゾーンでは、スナドリネコが気持ちよさそうに寝ていますね。可愛らしく見えますが、よく脚の爪をみてください! 鋭そうな爪がありますよ! この春に産まれた2頭のスナドリネコの赤ちゃん「ムーン」と「シェル」にもしっかりと爪がついています。

ほらほら、水の回廊ゾーンではフンボルトペンギンが岩場を歩いていますよ。足の爪でしっかりと岩をつかんでいるから、転んだりしませんね。となりの水槽にいる元気いっぱい動き回っているコツメカワウソもよく見ると、「コツメカワウソ」の名前の通り小さな爪がありますね。

こうして見て回ると、想像していたよりも多くの生きものたちに爪がありましたね。いやあ、今回もじつにあっぱれ! なのでした。

水族館で見よう

生きものたちの爪に注目して館内を巡ってみましょう。

爪って?

そもそも爪とは、一体なんなのでしょう? 調べてみると、爪は「表皮の角質が進化、硬化した」とされています。その役割は、「獲物やモノをしつかりつかむためであったり、歩きやすくする(移動しやすくする)ためである」と辞書には書かれてあります。

この「爪」というものは、私たち人間だけが持っているものではなく、いろいろな動物たちにも見ることが出来ます。では、動物たちはいったいどんな爪をしているのでしょうか。爪に注目して生きものたちを調べてみると、「この動物にも爪があるの?」と驚きの発見があります。

一日一種 (ペンネーム)

大学で動物学を専攻の後、野生生物の調査会社に6年ほど勤める。現在はフリーランスで、生きもののイラストや漫画制作を行う。著書「わいるどらいふっ!」1~2巻(山と溪谷社)など。イラストは全て筆者。



トレーをくわえて追いかけてっこ(遊び)をしていたハシボソガラス



ムクドリ 戸袋で子育て中

「心ここにあらざれば、見れども視えず、聞けども聴かざる」という言葉があります。心ここにあらざる状態、つまりぼーっとしていたり、何の知識もない状態では、すぐそばにあるものでも視えない、聴かれないという意味です。人間は眼で世界を見ている

のではなく、心(脳)で世界を視ているので、知識や関心がないものには気づかないだけなのです。逆に、ほんの少しの知識や関心があるだけで、どんな野鳥が見つかるようになります。

○カラス
カラスは不吉なイメージがあったり、ゴミを漁ったり、繁殖期には人を威嚇することもあるので、苦手な人も多いかもしれません。一方、知能が高いことから、おもしろい行動もいろいろと観察できます。全国では、車にクルマミヤや貝を轆かせて割ったり、水道の蛇口を回して水を飲んだり、公園の滑り台で滑って遊んだり、

○何種類ぐらゐの鳥が観られる??
他にも、よくよく目を向ければ、街なかでも1日に何十種類もの鳥を見つかることができるのです。初めて探鳥会などに参加された方は、必ずといっていいほど、その種類の多さに驚かれます。(私たち観察会のリーダーも、そんなに驚いてもらえることに驚きます)

○バードウォッチングは誰でもできる
バードウォッチングというと難しくつらだ…と思う方もいるかもしれませんが、しかし、やるうて思えば、老若男女、誰でもいつでもできる気楽な趣味です。道具も特に必要ありません。安価な双眼鏡くらいはあった方がよいですが、なくてもそれなりに楽しめます。通勤・通学路でも、お散歩コースでも、どこでもできます。いつもの道が、少し物足りなく感じたら、少し野鳥に眼を向けてみてはいかがでしょうか。きっと楽しくなりますよ。

また、繁殖能力の高さも注目に値します。特筆すべきは、ピジョンミルクという喉から分泌されるミルクです。多くの鳥類は、雛に与えるタンパク質(昆虫類が豊富な春〜夏に集中して繁殖しますが、ハトはピジョンミルクという技により、一年中繁殖が可能となっています。これは鳥類なのに哺乳ができるという反則技みたいなものです(厳密には哺乳類のようなミルクではありませんが、ハトって実はすごい鳥なんです)。

感じしてしまふほど様々な賢い行動が確認されています。皆様の身近なカラスもよくよく観察してみると、まだ誰も発見していない面白い行動を発見できるかもしれません。



身近でもいろんな鳥が見られる

一日一種さん

お散歩バードウォッチングのススメ

地球で
Let's enjoy on the earth
遊ぼう!

○オスズメ
例えばオスズメは、最も身近な野鳥の一つですが、意識しなければなかなかじっくり観ることはないかもしれません。実はオスズメは、ある意味レアな鳥です。なぜなら自然の中に行くとき全く見られず、人の身近にしか生息していません。

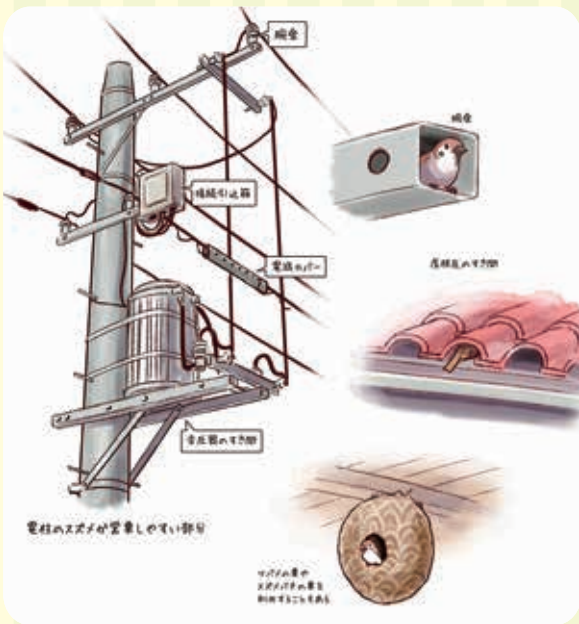
○ハト
ハトも実はなかなか見ごたえのある野鳥の一種です。身近で観られるハトは2種類、灰色ベース(色は個体差アリ)で

まず飛行能力がすごい。時速70km程度で飛び続けることができるほか、風を利用するのが上手く、タカのように帆翔したり、100km以上の速度で降下することもあります。持久力も高く、磁気コンパスも兼ね備えているので、伝書鳩やレース鳩としても利用されていたのはご

いつも当たり前のように視界に入っている鳥を、あらためてじっくり「観察」してみると、面白い発見があるかもしれません。ここではそんな例をいくつか紹介いたします。

春〜夏の繁殖期には、人工物(電柱や建物)のすき間に巣をつくり、頻繁に出入りしている姿がほほえましいです。一部の人(電気会社や建物の管理会社等)には困った存在でもあるのですが、。巣材や餌(イモ虫)などをくわえているオスズメを観たら、警戒されないように少し離れて後を追っていくと、巣の中に入っていく様子が観られます。ちょっと探偵になった気分が楽しめます。

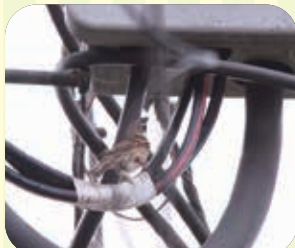
よく群れているドバト、ブドウ色で1羽または2羽がいてることが多いキジバトがいます。ハトの魅力はなんとといっても、あのおとぼけ顔に反しての「運しさ」です。漫画やアニメでも、見た目は弱そうなキャラが実はすごく強かったらカッコいいですよ。ハトはまさにそれです。



オスズメがよく巣を作る場所



ドバト ハトは実は強くてすごい鳥



配電盤に巣を作った オスズメ



-第17回-
カエル

飼育研究部 辻 晴仁

水族館で展示しているダルマガエル。せっかく釣れたトノサマガエルは写真を撮る前にどこかへ。

田植えの早い伊勢志摩地方では桜が散った頃には水張りが始まり、ゲコゲコとカエルが鳴き出します。同時に今回の題材にしようと思いついたのです。カエルなんて釣れるの？と思うかもしれませんが試してみるから面白いんです。百円ショップでフェルト生地を調達し、思いつくまま立体的に仕上げていきます。そのカエルが好む昆虫に見立てるのです。ちなみに針は全く使わないカエルに超安全な仕掛けです。それではカエル探しに出かけます。今回は田んぼの近くを小川が流れる場所に行ってみました。やはり田んぼに水が入ってカエルが時折飛び跳ねながら道路を横断します。さてどうやって釣るのかというと、フェルトで作った擬昆虫を空中からふらふらと漂わせながら鼻先に持っています。虫だと思ったカエルが寄って来てパクつとくわえるというのが私のイメージです。それが、いざやってみると簡単には食べてくれません。どうやら私の気配に気がついているみたいで、向こうに気がつかれる前にターゲットを見つけて



お手製の疑似餌。フェルト生地だとカエルの細かい歯に引っ掛かりやすく、くわえた後に離しにくくなる。もちろん針は使わない。



この後にトノサマガエルが食らいついてきた。



カエルが高活性になる雨降りの夕方にトライした。水もないところに竿を垂らす様はどう見ても変な人。

必要性がありそうです。そこで見つけてからアプローチするのではなくて、居そうだなという所に誘いをかけながら落ちて寄せる作戦にです。するとどこからともなくぴよんぴよんやってきて、飛びつきながらパクリ。口に入ったところでゆっくりと引っ張るとカエルも逃さないぞ！と口をつぐみます。カエルが離さないようにそっと持ち上げてキャッチー面白いことに、効果的だったので鈴をつけた擬昆虫。羽音のするコオロギなどを好むカエルの特性がもしもねえ！おうちに毛糸やモールが余っていたらちよっと加工してカエルと遊んでみてはいかがでしょう？どんな形、色に反応するのか。考え出すとめっちゃくちゃ奥深いカエル釣り。夏の自由研究におすすめてですよ！ちなみに、今回キャッチしたトノサマガエルの撮影をしようとしてシャッターを押しかけたその時、ぴよんと飛び跳ねてどこかに行ってしまったため、泣く泣く水族館のダルマガエルを撮影させて頂きました(笑)

第6回

人魚姫 セレナとの日々

飼育研究部 半田 由佳理

入館 35 周年を迎えて

2022年4月15日、セレナは入館35周年を迎えました。セレナがフィリピンから鳥羽水族館にやって来たのは1987年のことです。本当は入館当時のお話ができれば良いのですが、私はまだ入社しておらず、その様子などは写真を見たり先輩から聞いた事しか分かりません。ということで今回は「入館35周年セレモノー」の裏側、そして現在の様子をお話ししようと思います。

入館35周年のお祝いセレモノーとしてジュゴン担当者手作りの「アマモケーキ」をプレゼントすることにしました。過去に2回アマモケーキをプレゼントしているのですが、今回は5年ぶりということもあり、事

前に練習をすることにしました。セレモノーの開始時間も決まっておリ、お客様もたくさん見学に来られるはず。さらに取材もあると聞いています。セレナがすぐにアマモを食べてくれないと大変なことになるのです。練習は本番の2日前に行いました。ケーキの土台にセレナの好きなアマモを植え付け(練習なので少しだけ)、そっと沈めてみました。すると見慣れないものがブルーに入ってきたせいで来ません…。こんな直前ではなくもっと早く練習しておくべきだったと焦りを感じつつ、しばらくブルーサイドから姿を消し、ほかの作業をしながら様子を見ることに。しかし、セレナは遠くから見ていただけでなかなか食べに来てくれません。なんとか食べてくれるのを信じて1時間経過したころ、そっとセレナを見に行くと、ようやく食べていま



アマモケーキのプレゼント



背中に黒いシミが…

た。これで一安心です。そして迎えたセレモノー当日、担当者3人でアマモを植え付け、ケーキらしく見えるように葉先をカットして形を整えます。出来上がったケーキをブルーサイドに運び、それに気づいたセレナはもう水面付近で待っていました。事前に練習したおかげでセレナはケーキ投入と同時にアマモを食べ、セレモノーは大成りに終わりました。

現在36歳のセレナは毎日よく食べ、よく泳ぎ、元気に過ごしています。ただ…。シミが増えました。頭や背中に黒っぽいシミが目立ちます。もし、セレナと会話ができたら「お互いさまでしょ」と言われてしまいそうですが、でも、私は思うのです。それだけ一緒に年を重ねていってくれることが嬉しいと。これからも元気に過ごし、40周年、50周年、そして60周年を迎えて欲しいと思います。

獣医のち もき

【40】

自然な笑みを探して

飼育研究部 笠松 雅彦

ん。方向性が一つのほうだけに向いてい
たからです。日々の診療で困ったことが
続くと、なぜか考え方の多様性がなくな
り、自分の思いこんだ方向だけに流され
ていく傾向にあるのとよく似ています。
柔軟な考え方ができるようにするため
に、できるだけ思考のすそ野を広げてお
きたいと思っていますが、なかなか自己
流の枠から抜け出せずにいます。

私たちは「動物のために」や「動物最
優先」という言葉を水族館で働いている
とよく耳にしますが、その言葉を具現化
するのは実は非常に難しい作業です。し
かし近年は、それを具体的に行動しなけ
ればならない、そういう次の時代に完全
に入ったと実感しています。セイウチを
飼育している中で「動物のために」とは、
具体的にどんなことなのか？それを実践
するためにどんな準備が必要か？そんな
考えを年上の私のほうが正しいと押しつ
けるのではなく、今、私もあなたも考え
たり、調べたりする作業が停滞していま
すよ、と共有し論ずる時間も必要です。若
い飼育員や獣医師の方々には自分の意志
で動物観をアップデートしながら醸成
し、新しい考え方を汲み入れ、必要な技
術を身につけていってほしいと思ってい
ます。

新しいセイウチショーでは、今までと
違う笑顔が見られ、ひとまず良いスター

トが切れたと思っています。このセイウ
チショーでは、最後にセイウチとお客様
とトレーナーが一緒に垂れ幕を落とす、
という時間を作っています。垂れ幕を落
とすこと自体はセイウチだけでもできる
のですが、三人がそろって何かを達成す
ることで新しい価値観をつくるきつかけ
になってほしいという願いが込められて
います。その価値観を具体化できる人が、
「動物のために」を推進してくれるキー
パーソンになるのではないかと思ってい
ます。



▲セイウチショーのフィナーレ

垂れ幕に記されているように、私も飼
育員として、獣医師として、大成功と言っ
てもらえる日がくるように、残りの現役
生活でさらに歩みを深めたいと思ってい
ます。

第3回

伊勢志摩 プラプラ

4つの浜調査

高林 賢介



図1 3mの枠に入っていたプラごみ

前回訪ねた奈佐の浜では、県内有
数のごみが集まる浜を目の当たりに
しました。そこで、伊勢志摩のほか
の浜はどうなのかと興味があったので、
霧囲気のちがう浜を4つ選んで
調査してきました。現地では、満潮
で漂着物が打ちあがった辺りに3m
の枠を置いて、内側にあるプラごみを
調べることに。さて、何か見えてく
るのでしょうか？

調査1 伊勢 北浜海

岸(こし)ここは人家に近く
て小河川(せがわ)が流れこむ海
岸です。砂利(すずり)浜には枯
れたヨシ(よし)などストロー
状の植物(せいぶつ)が広く打ちあ
がっていました。一見
するとプラごみは点々
とあるだけです。とこ
ろが枯れ枝(かれえだ)をガサッと
めくってびっくり。ポ
ロポロになったプラ製
品(ひん)や包装紙(ほうさうし)があちこち
から出てきたのです(図
1)。浜全体では相当あ
りそうです。

調査2 伊勢 大湊海
岸(おほみなと)清流宮川(せいりゅうみやがわ)の河口(こうぐち)
から広がる海岸(かいがん)。これま

での経験(けいけん)から、河口(こうぐち)はプラご
み遭遇率(そうごうりつ)が高い場所(ばしょ)だと信じ
ていたのですが、簡単(かんたん)に見つ
かるはずのペットボトル(ペットボトル)すら
見つけられませんでした。砂
浜(すな)をなめるように探(たづ)ねよう
やく手にしたのは、わずか数
ミリのプラ片(ぺんぺん)2個(こ)のみ。北浜
とのギャップ(ギャップ)には驚(おどろ)くばかり
です。

調査3 鳥羽 国崎老の浜

潮通(しほとほ)しがよく海中(かいじゅう)林(りん)が広が
る好漁場(こうりやうば)です。浜(はま)には海藻(かいそう)の
アラメ(アラメ)やカジメ(カジメ)が大量(たくりやう)に打ち
上がり、乾(かわ)いて瘦(や)せたものは
まるで黒(くろ)いあばら骨(ほね)が転(ころ)がっ
ているようでした。この根元(ねもと)には釣
糸(いと)やイカ釣り(いかづり)につかう餌木(えぎ)木(ぎ)、そして
カニ網(かにあみ)などの漁具(りやうぐ)釣具(づりぐ)がからんでい
ました。釣り人(づりびと)としてはつらいなあ。

調査4 志摩 御座白浜

志摩半島(しまはんとう)の先(さき)にある遠浅(とんせん)で穏やか(おんやか)な海岸(かいがん)で
す。近く(ちかく)にはキャン(キャン)プ場(ば)や海(うみ)の家(いえ)が並
んでいます。砂(すな)は白(しろ)くて細(こ)かいので、
プラごみ(ごみ)をとて見(み)つけやすい。左足
だけのスニーカー(スニーカー)、防虫(ぼうちゅう)スプレー(スプレー)のふ
た、ボールペン(ボールペン)、吸殻(すいから)など、なんと
な背景(かいはい)との関係(かんけい)を匂(か)わせるプラ製(せい)品(ひん)が
打ちあ(うちあ)がっていました(図2)。



図2 浜ごとの特徴はあるように思う

*今回のプラプラ調査の精度は高くありません。
より正しく知るには、コドラート法を用いたり、定期的な調査が欠かせない
ことをお伝えしておきます

プラごみは、潮の満ち引きによつ
て浜から浜へ出入りすることもあ
り得(え)るでしょう。でも今回の調査では、場
所(ばしょ)によりいくらかの傾向(けいこう)があつたよ
うに思います。つまり近くの環境(かんげい)に
影響(えいぎやう)を受けやすい印象(いんげん)です。もしそ
うならば、プラごみを野外(がいや)に出(で)さな
いための対策(たいさく)は、それぞれの場所(ばしょ)に
合ったやり方(やりかた)がありそうです。例(たと)え
ば北浜(きたはま)周辺(まわり)では、海岸(かいがん)から道路(だうろ)へ戻
る階段前(かいでんまへ)にプラごみ回収袋(かいしゅうぶくろ)が置(お)かれ
ていました。地元(じよん)の方(かた)の手間(てま)はある
のでしようが、こういった工夫(くわふ)はな
かなか良い(よい)ものであ(あ)る。

皆さんは水族館の企画広報室(以下「広報」とします)の仕事といわれるとどんなことを思い浮かべますか？

元々飼育係をしていた私、広報に配属になり2年が経ちました。2年ぼっちでは広報について語れるほど経験もないのですが…少しお話をさせていただきますね。

広報の仕事を簡単に紹介すると、テレビや新聞などのメディアで取り上げていただく為に、水族館の生きものたちの出産や開催予定のイベントや企画展などをメディアの方にお知らせするプレスリリース、そこから発生するテレビや雑誌の取材対応や原稿のチェック、SNS・HPの運営、これらに伴う写真や映像の撮影・編集などなどきつと皆さんが想像するより盛りだくさんな内容です。

取材対応ひとつを例に挙げても、飼育係に予め取材内容や要望を伝え、メディアとの橋渡し役となり日

程の調整から下調べなど、当日スムーズに取材が進むように段取りし、対応しています。とまあ文字に起こすと1行、2行で書いてしまえますが、実はこれがなかなか大変です。メディアの方と飼育係の板挟みに…おっとーここから先を語りだすと後3ページくらい使ってしまうというのでこの話はまた別の機会に(笑)

とにかく、最終的な目標は、世の中の方たちに生きものを通じて「鳥羽水族館」を知ってもらい、ご来館いただくきっかけをつくることだと思っています。

そんな数ある広報業務でも今の時代ならではの仕事といえばSNSの運営です。皆さん既に「ご存知の通り、現在はSNSが目まぐるしく発達し、情報発信の仕方も以前とは変わりました。それが現状です。鳥羽水族館でもTwitter、Instagram、YouTube、などを主に活用し、日々情報を発信しています。そして

昨年の6月にはTikTokアカウントも開設いたしました。TikTokについてはその名称と若者の間で流行っているSNSらしいの認識しかなかった私、それもそのはず、TikTokユーザーの年齢層は16歳〜24歳の所謂「Z世代」が多いようで、アラサーの私には少しばかり距離を感じるものでした。

広報室には私よりも若く広報歴は先輩の頼れる女性スタッフペンペンさん(以下「先輩」と呼びます)がいるのですが、P先輩がTikTokアカウントの立ち上げから運営までを1人でこなしてくれていました。始動して約2ヶ月は毎日目標に投稿されていたので、P先輩が不在の日には予めストック動画を用意してくれていたのですが…このままではいけない…!!と思ひ、自分なりにTikTokについて調べ、時には教えてもらいながら今ではなんと動画投稿することが出来るようになりました。

ただ、どこか漂う中年!?感…(笑)元々、お世辞にもセンスがあるとは言え



笑顔を見せつつ、内心はドキドキの取材対応

アラサーだけど新人広報ウーマン!?

企画広報室 村上 真美

ないタイプの人間なので、動画の撮り方から文字のテイスト・見せ方・選曲など難しいなあと言々模索中です。

広報ウーマン?としてはまだまだ未熟者ですが、一人でも多くの方に鳥羽水族館を知ってもらおうべくこれからも生きものたちの情報を発信し続けていきたいと思ひます!

まだの方は是非、鳥羽水族館の公式SNSご覧下さいね!アラサー広報の動画へのご意見・アドバイスもお待ちしております(笑)

もうヘンなヤツとは言わせない!

第22回

ヒメキンカライソギンチャク

飼育研究部 森滝 丈也



ジンゴロウヤドカリと共生するヒメキンカライソギンチャク

熊野灘の水深300mあたりで見つかるジンゴロウヤドカリが背負う貝殻の上に乗った少しピンク色がかった「ヒメキンカライソギンチャク」。その存在は以前から知られていて、水族館でも目にする機会が多い深海のイソギンチャクの一つです。そんなヒメキンカライソギンチャクが未記載種(論文などで未発表の種)であると研究者から聞いたのは、今から4年前の2018年の秋の頃でした。実は、本種は分類学的な研究が進んでおらず、正確な種類は長らく不明だったのです。そこで、研究者グループと共同で本種の新種記載と生態観察報告を進めることになりました。

本種はヤドカリが背負った貝殻を土台にして自身の分泌物で貝殻のような構造を作る興味深い生態が知られています。この構造物は貝殻と比べるといくぶん強度は弱いものの、ヤドカリの体にフィットするように作られます。浅海に生息するヤドカリの中にもイソギンチャクと共生する種類はいくつか知られていますが、いずれも自身が背負う貝殻の上に乗っているだけ。本種のように自ら貝殻のよ

うな構造物を作りだすイソギンチャクは非常にユニークです。ヤドカリにとってみれば、貝殻が勝手に大きくなれば頻繁に宿替えする必要がなくなるわけで、大きな利点があると考えられます(宿替えのタイミングは敵に襲われやすく、そもそも深海には適当なサイズの貝殻も少ないと思われまます)。イソギンチャクにとっては、宿替えの際に放棄されるリスクが少なく、自ら移動しなくても生活に適した場所に連れて行ってもらえるといった利点があると考えられます。本種は自然下ではジンゴロウヤドカリ以外のヤドカリと共生する例が知られていないことから両種は強い共生関係にあると考えられています。

そして、研究者と共同研究がスタートしてから4年、詳細な形態観察とDNA解析の結果、本種はこれまで知られていた種とは異なる特徴を持つ未知の種であることが明らかになりました。和名はこれまで用いていたヒメキンカライソギンチャクのままでありますが、学名は自らヤドカリの「宿」を作る習性から、小説「Howls Moving Castle」(日本語タイトル…魔法使いハウル

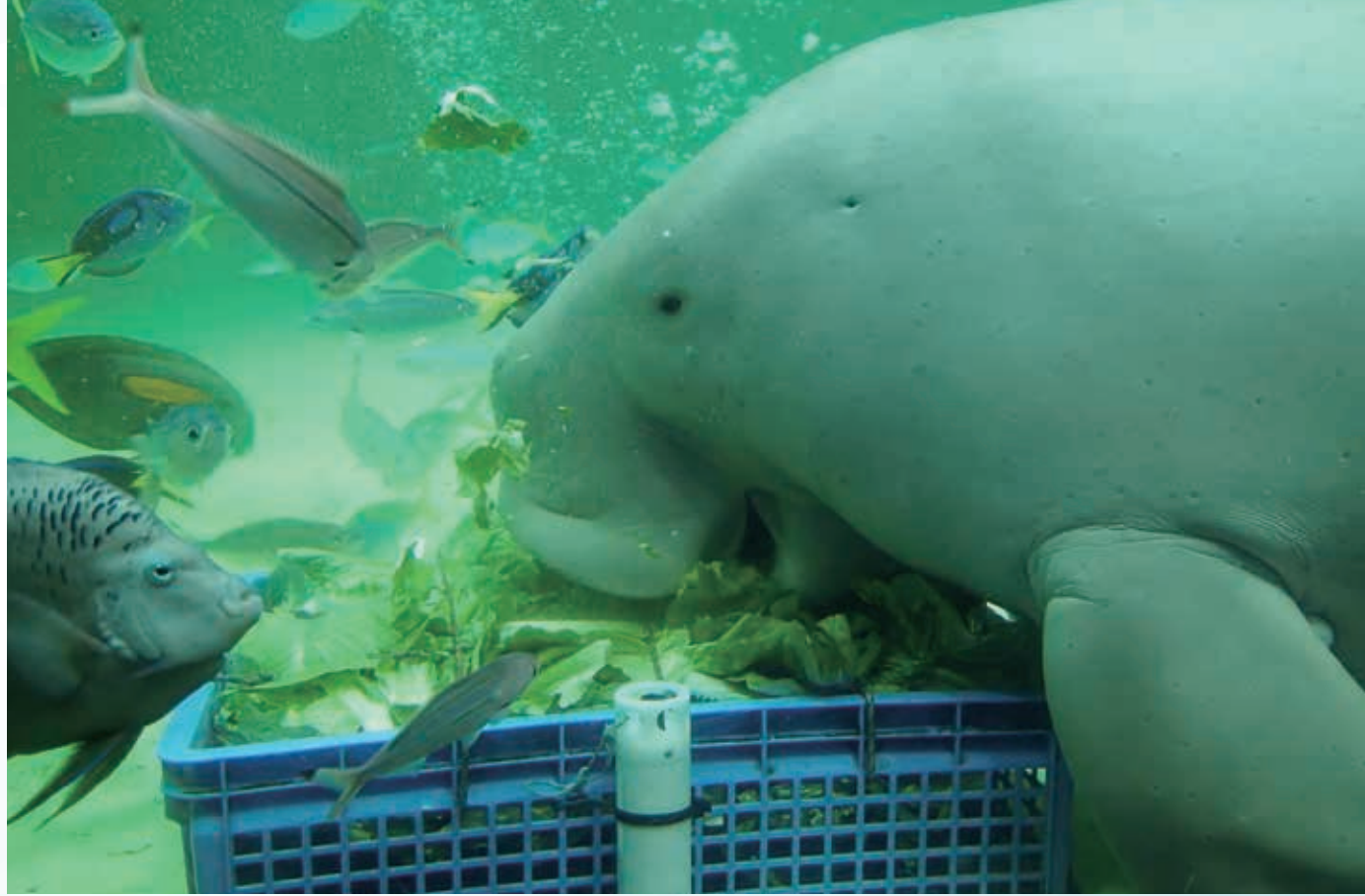


イソギンチャクとヤドカリは強固な共生関係にあると考えられる



イソギンチャクが作り出した偽の貝殻

と火の悪魔」に登場する火の悪魔「カルシファー」に因んで、*Synobates califier* (スタイロバテス・カルシファー)と命名され、新種としてアメリカの科学ジャーナルに記載されました。



セレナの音声を水中マイクで録音（コンテナ中央の白い円筒状の物）（写真提供：京都大学）

セレナ入館 35周年に寄せて

〜セレナを通して見る水族館と大学との連携〜

鳥羽水族館副館長 若井 嘉人

はじめに

今から36年前の1986年10月10日、セレナはフィリピン・パラワン州にあるエル・ニドという地域で、親からはぐれ一頭で泳いでいたところを鳥羽水族館とフィリピン政府のジュゴン調査チームに保護されました。当時セレナは一歳未満の赤ちゃんで、私たちはセレナを安全な場所で畜養し人工哺育を行いました。その後様々な経緯の後、セレナはフィリピン大統領から日比友好の証として翌年、1987年4月15日にはるる鳥羽水族館にやって来たのでした。

協力し合う水族館と大学

鳥羽水族館では、大学と協力し、「飼育下」という水族館ならではの特性を生かしてジュゴンなど飼育動物の生態や生理の解明に力を入れています。

一般的に野生動物を対象とした研究を行っている大学の研究室では、対象となる動物を求めてフィールドへ出ることが多いのですが、動物種によってはアプローチが困難な場合が多々あります。また糞尿や血液な

方が生まれたわけなのです。

共同研究の具体例

それでは、具体的にセレナを使つてどのような実験や研究がこれまで行われてきたのか、少しご紹介したいと思います。

研究テーマはさまざまですが、特に多いのが行動観察を伴うもの、また糞尿や体の一部を採取してホルモン値や腸内細菌、DNAなどを分析するもの、変わったところでは東海大学のようにセレナに様々な図形を見せて認知能力を解析する実験なども長期にわたって行われています。

また最近では、三重大学との共同研究によって初めてジュゴンの「あくび」が確認されるなどアプローチの仕方は様々です。これらの研究が、野生ジュゴンの種の保全にどのように関わるのか一言で説明するのはなかなか難しいのですが、例えば京都大学によるジュゴンの音声研究や、立命館大学の環境DNAの研究のようにすでにフィールドにおける保護活動に積極的に活用されているものも少なくありません。

セレナが地球の未来を救う？

最後に水族館の役割として忘れて

はならないことがあります。それは一人でも多くの人にセレナを通じて「ジュゴン」と言う動物の情報を伝えることです。生態的な事はもちろん、今彼らの身に何が起きているのか？ということを知っていただきたいのです。

私は水族館や動物園は地球環境を身近に考えるための入り口だと思っています。鳥羽水族館でセレナに出会ったことで、希少動物の保護や環境問題に関心を持つ人が一人でも増えることになれば、こんな素晴らしいことはありません。



セレナの性ホルモンの研究・手に持ったフィルムケースでセレナのオシッコをすくい取る（東京農工大学）



水中マイクからセレナの音声を聞く学生（写真提供：京都大学）



ジュゴンの「形の認識」の実験（写真提供：東海大学）



世界で初めて学術的にジュゴンの「あくび」が確認された（三重大学）写真は当館の飼育係が撮影した「セレナの大あくび」

CLOSE UP

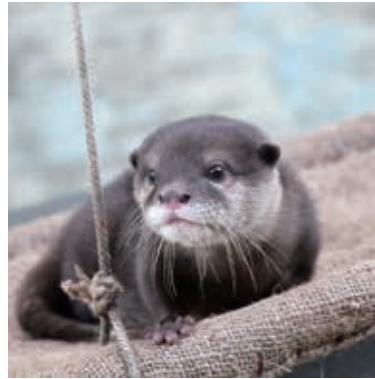
正月イベント 「トラトラ神社でおめでタイガー〜吠えろ！鳥羽水のトラたち〜」を開催

12月30日〜1月3日の期間で正月イベントを開催しました。2022年の干支である「寅」にちなんで館内に「トラトラ神社」が登場し、たくさんのお客様に参拝していただきました。社の中には、トラフカラッパやタイガープレコなど、名前に「トラ」が付く5種類が生きものが展示され、神



社に合わせて御朱印帳を模した解説板が設置されました。参拝された方々は、きつと、おめでタイガー、一年を送ることができるといって……！(青倉)

コツメカワウソに赤ちゃん誕生



1月12日にコツメカワウソの赤ちゃんが誕生しました。体重は62gの雌でした。父親は「アサヒ」、母親は「キワ」です。キワは初めての子育てで授乳させることができず、人工哺育で育てました。名前は「はな」と名付けられました。鼻頭がピンクの部分が多いのが特徴で、可愛く覚えやすく、わかりやすい名前ということで、担当者の間で決めました。人工哺育中はバックヤードで

スナドリネコに赤ちゃん誕生

2月26日、スナドリネコに待望の赤ちゃんが誕生しました。残念ながら母親のパールの育児をする素振りが見られず、人工哺育へと切り替えました。鳥羽水族館では初となるネコ科の繁殖で嬉しい反面、不安もありましたが、2頭ともすくすくと成長しています。遊ぶのが大好きで、バックヤードを走り回ったり、飼育係の肩に登ってきたりとやんちゃぶりは日々増えています。愛称募集で兄「ムーン」弟「シエル」という素敵な名前が付ききました。彼らの成長を温かく見守っていただけたらと思います。(竹居)



春の企画展 「キラ☆メイトートバスイ春のラッコ祭り」を開催

3月19日から5月9日まで、春の企画展「キラ☆メイトートバスイ春のラッコ祭り」を開催しました。2階会場では、「メイ」と「キラ」を中心にラッコのかわいらしさを前面に押し出した写真コーナーや動画の展示、3階会場では、ラッコの生態や歴史、鳥羽水族館でのラッコ飼育に関する年表などの展示を行いました。また、イベント開始に合わせて、新しいラッコグッズや写真集の販売も始まり、たくさんのお客様にご好評をいただきました。(世古)



水中入社式を開催

3月31日に、2年ぶりとなる水中入社式を開催しました。今年は、飼育



研究部に配属された4名の新入社員が、多くのお客様に見守られながら式に臨みました。それぞれ緊張を胸に抱きながらも、先輩スタッフによる潜水訓練と入念なリハーサルのおかげもあり、与えられた役割をしっかりとやり遂げてくれました。セレモニーの締めくくりには、集まったお客様から万雷の拍手を浴び、無事社会人としての一歩を踏み出しました。(中村)

＝編集後記＝

コツメカワウソ、スナドリネコ、スナメリ…今年の鳥羽水族館は動物の赤ちゃんがいっぱい！みんな無事に育ってくれたといいな。(高村)

ドローンチームが撮影したスナメリの映像を見せてもらいました。3Dゴーグルをつけたら自分が飛んでる目線で見えるのかな。(高林)

バスとスパゲッティの違いを知ってる方いらっしゃいましたら教えてください。(辻)

木彫展を見に行きました。たくさん海の生きものたち、そしてカメキチにセレナ…ぬくもりのある作品の数々に時間を忘れて見入ってしまいました。手仕事って素晴らしい。(井上)

表紙のワニの写真撮影は週1回のご飯の際にお邪魔しました。すぐ目の前にワニがいる緊張感が漂いつつも、ご飯を待っている姿はかわいく見えるので不思議です。(※個人差あり)(村上)

新しく編集メンバーに加えていただきました。不安もいっぱいですが、力になれるよう頑張ります！よろしくをお願いします。(青倉)

次号 No.82 は 12月下旬発刊予定

TOBA SUPER AQUARIUM
2022 夏 No.81

発行人／奥出 協

発行所／鳥羽水族館

〒517-8517 鳥羽市鳥羽3-3-6

TEL 0599-25-2555

編集長／若井 嘉人

編集委員／高村 直人

高林 賢介

辻 晴仁

井上 まゆこ

村上 真美

青倉 七雲

印刷／(株)アイブレーション

© 本誌の掲載記事、写真等の無断複製・複製転載を禁じます。

みんなの地球を大切に！この本は再生紙を使用しています。



出来事

2021年11月〜2022年4月

11月

- 4日 ●イロワケイルカの赤ちゃんの名前が「アース」に決定
- 11日 ●セイウチが「税を考える週間」をPR
- 22日 ●いい夫婦の日になんで「セイウチふれあいタイム」を特別パレードで行う
- 27日〜12月25日 ●クリスマスイベント「デンキウナギのジャングルツリー」を開催

12月

- 11日 ●三重動物学会「化石の観察会」津市美里町にて開催
- 13日〜19日 ●鳥羽市民感謝週間
- 22日〜23日 ●「ペンギン水槽」海獣の王国「年末大掃除」
- 30日〜1月3日 ●正月イベント「トラトラ神社でおめでタイガー〜吠えろ！鳥羽水のトラたち〜」を開催

1月

- 1日〜3日 ●ラッコにお年玉プレゼント
- 12日 ●コツメカワウソ「キワ」に赤ちゃん誕生
- 13日 ●大分マリインパレス水族館うみたまごよりセイウチ「泉」短期B.L.にて受け入れ
- 16日 ●へんな生きもの研究所オンラインツアー開催

2月

- 3日 ●節分にちなんだ鬼ダイバーが大水槽に登場
- 13日・27日 ●バレンタイン企画

3月

- 14日 ●「ひとりウム」メイ探偵企画第2弾を限定販売
- 14日 ●アメリカヒーバーの「シーボン」にバレンタインプレゼント
- 21日 ●セイウチ「泉」を大分マリインパレス水族館うみたまごへ搬出
- 22日 ●バイカルアザラシ「ニコ」2歳の誕生日アイスケキをプレゼント
- 26日 ●スナドリネコ「パール」に赤ちゃん誕生

4月

- 4日 ●スナドリネコの赤ちゃん一般公開と愛称募集
- 11日 ●越前松島水族館よりミズダコ他2種7点搬入
- 14日 ●越前松島水族館へイセエビなど5種113点搬出
- 15日 ●竹島水族館よりタカアシガニ他8種36点搬入
- 17日 ●ジュゴン「セレナ」入館35周年セレモニーを開催
- 23日 ●スナメリ「勇氣」37歳の誕生日
- 25日 ●カピバラ「セン」死亡
- 28日 ●ラッコの「キラ」14歳の誕生日にアイスケキをプレゼント

5月

- 31日 ●春の企画展「キラ☆メイトートバスイ春のラッコ祭り」を開催
- 31日 ●水中入社式を開催
- 28日 ●新米社員による田植えを田んぼ水槽で行う

鳥羽水族館 スケジュール (2022年6月1日現在)

7月

8月

9月

10月

11月

12月

～帰ってきた危ない奴ら～

超危険生物水族館2

期間：2022年

7月15日(金)～

9月19日(月・祝)



イメージ

クリスマスイベント

(タイトル未定)

期間：2022年

12月3日(土)～

12月25日(日)

■詳しい日時についてはホームページでご確認ください。なお、動物の健康状態などにより変更や中止の場合があります。

クイズ&プレゼント Quiz & Present

Q.鳥羽水族館のミシシッピーワニには名前が付いています。オスの名前は何というでしょう？

1: ワニタロウ

2: ワニジロウ

3: ワニゾウ

ヒントは
特集ページに
あるよ!

正解者の中から抽選で3名様に

「ミニミニ危険生物マスコット3点セット」をプレゼントいたします。クイズの答え、住所、氏名、電話番号、感想をご記入の上、お応募ください。締切は2022年8月31日(必着)で、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

あて先：〒517-8517 (住所不要)

鳥羽水族館 T.S.A. 編集室



定期購読
方法の
ご案内

郵便払込み(青色用紙)でお申し込みください。

加入者名：鳥羽水族館 T.S.A. 編集室

口座記号番号：00890-7-188305

料金

1年分 420円、2年分 840円です。

通信欄に氏名、住所、電話番号、何号からの購読希望か、購読期間は1年か2年かをお書きください。

【動物取扱業に関する表記】

鳥羽水族館：三重県鳥羽市鳥羽 3-3-6 種別：展示 志摩第18-1号 2006年6月1日 登録更新：2021年6月1日 有効期間：2026年5月31日まで 動物取扱責任者氏名：長谷川一宏